

プロジェクト名	大津町家利活用プロジェクト会議	
設置日	平成25年7月31日	
目的	貴重な地域資源である大津町家について、空き家となった物件の情報収集及び活用希望者への紹介、並びに活用方策の検討及び提案を行うことで、新たな活用が図られるよう支援し、大津町家の建築的価値を維持した整備を通して、まちの賑わいづくりや良好なまちなみ景観の保全を促進する。	
活動内容 (予定含む)	①町家じょうほうかん運営手法の検討 (他都市事例情報収集、組織体制の再構築) ②町家じょうほうかんの運営 (空き町家の情報収集、活用希望者への物件紹介) ③空き町家の活用提案 (町家の改修による商業施設等の整備の提案)	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<input checked="" type="checkbox"/> (基本方針1) 大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化 <input checked="" type="checkbox"/> (基本方針2) 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出 <input type="checkbox"/> (基本方針3) 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり 【該当事業又は関連事業】 町家等活用事業、町家じょうほうかん運営事業	
人数	5	
リーダー	白井 勝好	NPO法人大津祭曳山連盟 理事長
サブリーダー	山本 進一	(株)まちづくり大津 取締役
プロジェクト委員	新川 均	大津の町家を考える会 会員
	秋村 洋	株式会社プラネットリビング 代表取締役
	柴山 直子	旧東海道まちなみ整備検討委員会 作業部会員
適用・特記事項		

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	大津町家利活用プロジェクト会議
-----------	-----------------

年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 （実績）	<ul style="list-style-type: none"> ①町家じょうほうかんの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・活用希望者へ新規物件（1件）を紹介 ②空き町家の活用提案 <ul style="list-style-type: none"> ・2物件について活用方策の検討を実施 ※所有者の意向により実現せず ③空き町家所有者に対する活用ニーズ調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度町家調査を基に、空き町家所有者に対して、今後の活用意向を確認するアンケート調査を実施（※詳細は別紙のとおり） 	実績額：449,400円 内訳： ③大津百町・空き町家活用意向 ニーズ調査業務委託 449,400円
平成26年度 （予定）	平成25年度実施のニーズ調査結果を基に、 <ul style="list-style-type: none"> ①町家じょうほうかんの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・空き町家の情報収集と物件調査 ・活用希望者への物件紹介 ・運営体制の検討、移行 （市・曳山連盟→まちづくり大津） ②空き町家の活用提案 <ul style="list-style-type: none"> ・活用方策の検討と活用提案（資金計画含む） 	予算額：200,000円 内訳： ①運営体制検討費 100,000円 ②活用提案委託費 100,000円
平成27年度 （予定）		
平成28年度 （予定）		
平成29年度 （予定）		